

長岡商工会議所 令和4年度(2022年)「事業計画・収支予算」

(自:2022年4月1日 至:2023年3月31日)

I. 活動方針

～ポストコロナの時代を転機と捉え、積極的に事業を展開～



第14代会頭
大原 興人

- ・コロナ禍において、経済変化のスピードが加速的に進むことで、過去の経験や慣例が通用しなくなるばかりか、環境対応やデジタル化の取り組み如何では、今後、企業間格差が更に拡大することが懸念されます。
- ・このような状況の中で、企業にとっては、「ポストコロナ」に向け自社のあり方を見直し、知恵を絞り、自らを変える勇気をもって様々な経営課題に早急に着手することが、最も求められていると考えております。
- ・当所といたしましては、関係行政機関と連携を更に図り、安心して通常の消費活動や経済活動が行える環境をつくるため、会員目線でしっかりとポストコロナへの対応に努力していく所存であります。
- ・あわせて、経済回復に向け、企業の事業継続、成長支援を更に強化するほか、新事業への取り組み支援や環境施策の啓発・研究をはじめ、販路拡大支援、地域・観光振興による誘客促進支援、並びにオンラインでの経営相談、産学官連携を推進してまいります。
- ・再開発事業については、現在計画どおり工事が進んでおり、新しい機能・体制で地元産業・企業をワンストップで支援するビジネス交流拠点に向けて、具体的な計画をつくり上げてまいります。

行動理念 長岡商工会議所は、企業の成長と地域経済の活力強化を目指し、現場主義を徹底し、「行動する商工会議所」として地域と共に歩みます。

- 行動指針**
1. 企業・団体・市民に支持される事業や、会員の持続拡大と財政基盤の改善を目指し、役員・議員・職員が一体となって事業を推進します。
 2. 営業・サービス活動の強化により、会員の経営力向上に貢献します。
 3. 変化に対応し、常に組織の改善・変革を進めます。

III. 各種委員会・部会等活動

区分	目的
1. 委員会活動	◇事業・財政・組織及び経済・産業にかかわる現状の課題や将来のテーマを設定し活動するほか、会議所の運営に関する会頭の諮問に対応します。 〔財務、地域・まちづくり、中小企業支援、組織運営、新会館建設構想、表彰、小規模事業者経営改善資金審査会、ゴルフ大会運営〕
2. 部会活動	◇会議所活動のベースとなる「11部会」を活性化させることにより、会員の参画意識を高め、他部会との相互交流とビジネス機会の拡充を図ります。 〔繊維衣料、食品、生活用品、機械・電機、一般工業、建設、金融、運輸・交通、観光・サービス、情報・専門、健康・医療福祉(会員数:2,542/R3.12末)〕
3. エリアプロジェクト (4ブロック:東西南北)	◇会員の会議所活動への理解促進と参画意識の醸成のため、東西南北に分けた4ブロックを正副会頭が担当し、小規模企業振興委員30名と連携して、地区の会員との交流・懇談や各種事業を展開します。
4. 青年部	◇企業経営者としての研鑽を積み、会員相互の親睦と連携を密にし、商工会議所の事業活動への参画及び、協力を通じて地区内における商工業の振興、福祉の増進に資する事業を展開します。(会員数:307/R3.12末)
5. 女性会	◇会員相互の親睦と連携を密にして、女性経営者への活動支援と商工業の振興を図り、兼ねて社会福祉の増進に寄与する事業を展開します。(会員数:35/R3.12末)

II. 4つの重点項目

事業継続・成長支援及び起業・創業を全力でサポート

